

これは
DV被害者の
魂の叫び

五月の雨

家庭内で起こる静かな暴力。
第三者に透明化される被害。
そして離婚後も続く支配。
それは、まるで“見えない鎖”のように親
子を追い詰めていく。
果たしてこの鎖を断ち切る方法はあるの
か。

離婚後共同親権導入後の未来をドラマで
再現、そして実際に離婚後に起きている
凄惨な事件、DV被害当事者声、弁護士へ
の取材から離婚後共同親権の問題点を讀
み解いていく。



上映会

2026年 7月 9日 (木) 14:00~16:30 上映74分
開場 13:30

会場：矯風会館 1階ホール 新宿区百人町2-23-5

参加費：事前申込 1,000円(お支払い当日)、当日 1,100円

コメンテーター：戒能民江さん(お茶の水女子大学名誉教授)

定員：100名(定員になり次第、締め切らせていただきます)

監督：富田玲央

出演：安川まり／巴山祐樹／楠田悠人／酒井禅功
2025年

共催：(公財)日本キリスト教婦人矯風会／(社福)慈愛会

配給元：ちょっと待って共同親権ネットワーク「五月の雨」製作委員会

共催団体

公益財団法人 日本キリスト教婦人矯風会

1886年創立。日本で一番歴史の長い女性団体です。キリスト教精神に基づいて、女性の視点に立ち、すべての人々の人権と平和が守られるよう、困難な状況にある人々、特に女性と子どもへの支援につとめ社会全般の福祉の増進に寄与することをめざしています。具体的には、武力によらない平和、女性・子どもへの性暴力問題、アディクション(依存症)問題などをテーマとした講演会・学習会開催。国籍を問わない女性のための緊急一時保護施設「女性の家HELP」の運営も行っています。

社会福祉法人 慈愛会

設立母体である日本キリスト教婦人矯風会の精神を活かし、女性と子どもの人権回復と権利実現を支援するために、1953年より婦人保護施設「慈愛寮」、2024年度からは女性自立支援施設として「慈愛 jiai」を運営しています。現在全国に47の女性自立支援施設がありますが、慈愛 jiaiだけが様々な事情・困難な問題を抱え、ひとりで産前産後を迎える妊産婦とそのベビーの支援に特化されています。女性たちの「これからの私」を形成していく支援を、スタッフの連携で実施しています。

〈 戒能民江さんプロフィール 〉

お茶の水女子大学名誉教授。法学者。専門はジェンダー法学、とくに女性に対する暴力に関する研究。DV、若年女性への性暴力、女性支援事業などの政策検討に関わる。1992年に日本で初めてのドメスティック・バイオレンス実態調査に取り組んだ。日本学術会議会員、ジェンダー法学会理事長、法制審議会家族法制部会委員(共同親権法制化)などを歴任。2002年山川菊栄賞、2006年平塚らいてう賞、2023年度朝日賞受賞。関連著書に、『困難を抱える女性を支えるQ&A—女性支援法をどう活かすか』(共編著、信山社、2024)、『婦人保護事業から女性支援法へ—困難に直面する女性を支える』(共著、信山社、2020)、『危機をのりこえる女たち—DV法10年、支援の新地平へ』(編著、信山社、2013)、『ドメスティック・バイオレンス』(不磨書房、2002)など。

事前申込方法

QRコード、または矯風会ホームページよりお申し込みください。メールの場合には、件名「7/9上映会申込」、お名前、ふりがな、電話番号、イベントを知ったきっかけ、一般/会員の別をご記載ください。参加費1,000円は、当日会場にてお支払いいただきます。



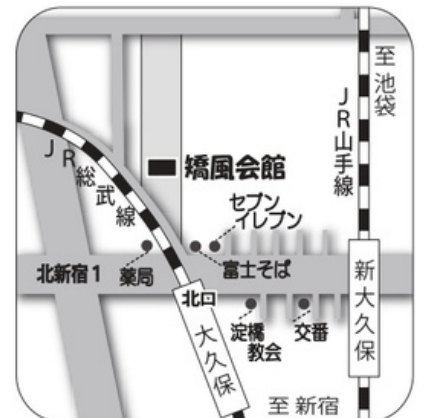
事前申込用QRコード

プログラム

14:00~14:05	開会あいさつ
14:05~15:20	映画上映(74分)
15:20~15:25	休憩
15:25~15:55	戒能民江さんコメント
15:55~16:25	質疑応答
16:25~16:30	閉会あいさつ

上映会参加時の禁止事項

- ・ 映画・イベントの撮影・録音・公開
 - ・ 参加者の所属や名前などを許可なく公開すること
 - ・ 参加者を許可なく撮影すること
 - ・ 参加者の写真を許可なくSNSに上げること
 - ・ 上映会の進行を妨害する行為、法令違反や犯罪に該当する行為
- 禁止事項の違反が確認された場合や、主催者が必要と判断した場合、入場のお断りや退場といった措置を取ることがございます。



お問い合わせ先：公益財団法人 日本キリスト教婦人矯風会

電話 03-3361-0934 FAX 03-3361-1160

メール kyofukai@titan.ocn.ne.jp ホームページ <https://kyofukai.jp/>